

- 地下駐車場における短時間豪雨等による急激な浸水時における初動対応の実効性を確保するため、国、運営事業者、自治体、接続施設管理者等が参加する合同防災訓練を実施しました。
- 合同防災訓練は、関係者間の情報共有・伝達訓練や止水板設置、避難誘導の実動訓練に加え、接続管理者による利用者への駐車場閉鎖に関する情報伝達(アナウンス)の手順を確認する訓練を実施しました。
- 今回の訓練を踏まえ、引き続き浸水被害の最小化に取り組んでまいります。

【訓練概要】

- 開催日時：
令和8年6月30日(火) 14:00～15:00
- 実施場所：
国道50号 泉町駐車場
- 参加者：
常陸河川国道事務所、駐車場運営事業者、水戸市、水戸地方气象台、接続施設管理者 計26名
- 訓練内容：
 - ・止水板設置訓練
止水板の設置手順を確認するとともに、正常に設置出来ることを確認した。
 - ・避難誘導訓練
避難誘導班が避難役(駐車場利用者)に対して、早期退出を促し、地上への誘導を行った。
 - ・情報共有伝達訓練
気象状況等に応じた情報を関係者間で共有・伝達し、安全かつ早期に駐車場を閉鎖するまでの情報伝達訓練を実施した。
加えて、接続管理者による利用者への駐車場閉鎖に関する情報伝達(アナウンス)の手順を確認する訓練を実施

止水板設置訓練



入庫口にて、止水板の設置手順及び正常に設置できるか確認

避難誘導訓練



避難誘導班による早期退出の声掛けにより、駐車場利用者に対して安全な避難誘導を実施

情報伝達訓練



駐車場関係者に対し、情報連絡をメールで一斉伝達し、駐車場閉鎖までの手順を確認